

2004年4月

各位

ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社
双 日 株 式 会 社

双日、青木商店と共同で自動車解体処理工場を設立
～資源の再利用と高度な循環型社会システムの一翼を担う～

ニチメン株式会社と日商岩井株式会社が合併して誕生した双日株式会社は、株式会社青木商店（本社：埼玉県新座市、代表者：青木いね）と共同で自動車の解体処理を行う「株式会社CRS埼玉」を設立し、廃棄自動車から出るリサイクル資源の潤滑な流通を支えて参ります。

5月に営業を開始するCRS埼玉は、資本金が3億4000万円で、青木商店が51%、双日が49%出資します。2005年1月より施行される自動車リサイクル法を視野に入れたELV（End of Life Vehicle）一貫処理工場で、年間加工能力は国内トップクラスの24000台を誇ります。

現在のELV処理の主流はシュレッダー方式の処理ですが、処分場の不足や流入規制が深刻化し、また、鉄スクラップ相場の影響を受けやすいため不適正な処理につながっているケースも見受けられます。シュレッダーダストは有害物質を含むため、その不適正な処理が社会問題化している事実があります。

自動車リサイクル法では電子マニフェストの採用が義務付けられ、すべてのELV処理の流れがトレースされるようになります。CRS埼玉の処理手法は、ELVに含まれるCu分を徹底的に除去してプレス処理することにより、電気炉などの資源として有効に利用していくというものです。CRS埼玉では、ELV処理が適正な工程を経て行う事業者に向けられることを見越し、一貫処理で透明性を確保して広く支持を得ることを目標としています。

自動車を始め、あらゆる産業を支える場面で鉄スクラップが排出されますが、C R S 埼玉では、これらの大切な資源を回収、加工した上で流通ルートに送り出し、限りある資源を有効にリサイクルする一助になることを願っています。



C R S 埼玉 工場完成予想図

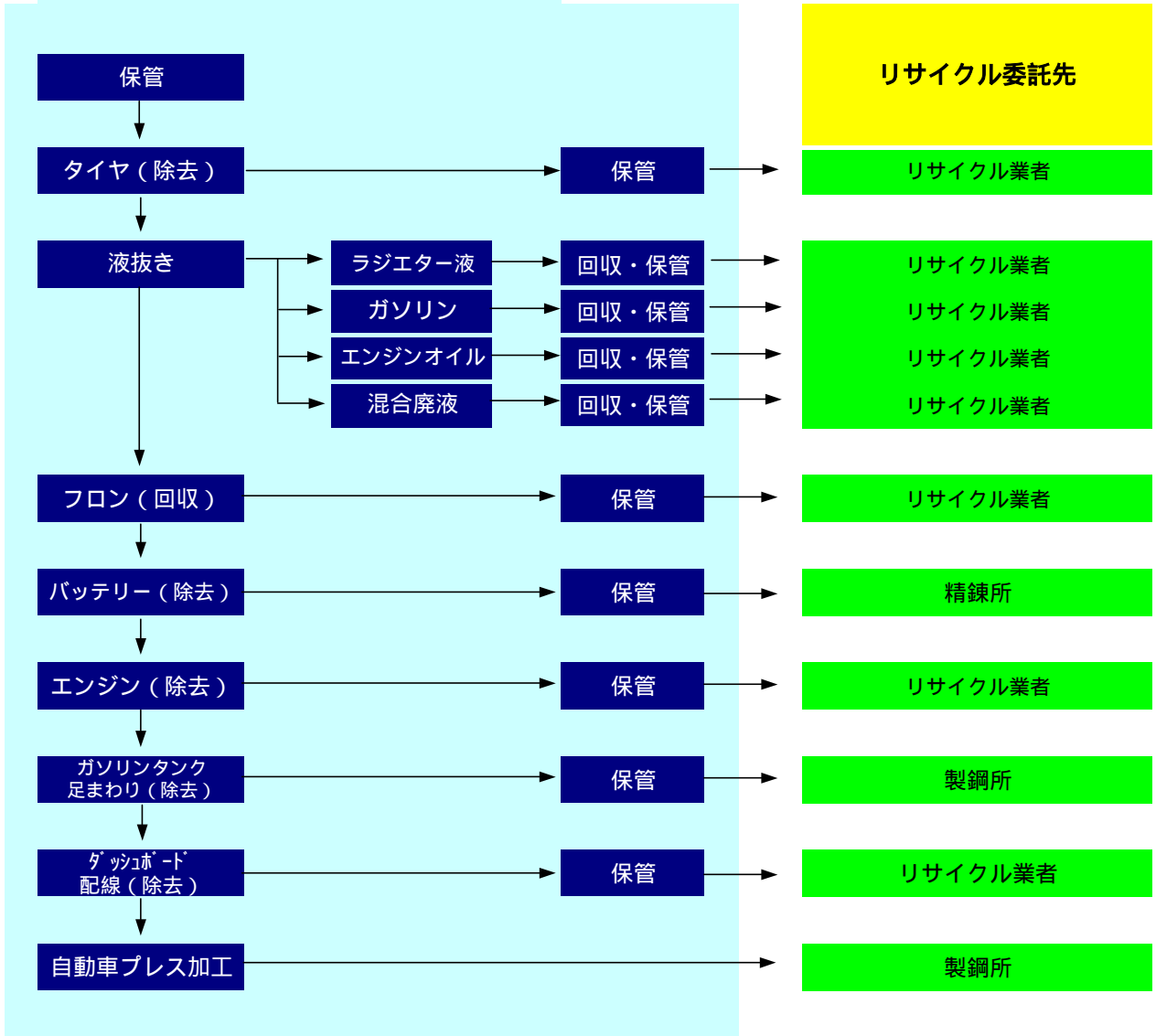
添付：自動車リサイクルスキーム図

【本件に関する問い合わせ】

ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社 広報部 03 - 5446 - 1061

双 日 株 式 会 社 広報部 03 - 5446 - 1061

自動車リサイクルスキーム概要図



E L Vの回収ルートとしては、現地から50km圏のカーディーラー・修理工場・板金屋がターゲット。